



Reveal® 2.0 for Salmonella, Complete System with RV & M-Broth

キット製品

キットID

製品名	: Reveal® 2.0 for Salmonella, Complete System with RV & M-Broth
製品コード	: 9805
Part Number(s)	: 9805 700002827

キット安全情報シートの供給者の詳細

Manufacturer

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Leshler Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - <https://www.neogen.com/>

Importer

Neogen Japan K.K.
220-0012
Kanagawa Nishi-ku Yokohama City 3-3-3, Minatomirai 12F Yokohama
Connect Square
T 045-211-4615

一般事項

使用上の制限	: あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。
概要	: このテストキットは、以下に記載されている複数の個別コンポーネントで構成されており、それぞれに安全データシート（SDS）が付属している場合があります。物品、および固定化されてアクセスできない化学物質には、このパッケージに安全データシートは付属していません。

Reveal® 2.0 for Salmonella, Complete System with RV & M-Broth

キット 安全情報シート (SIS)

キット内容

名前	GHS分類
Rappaport-Vassiliadis Broth	爆発物 分類できない 可燃性ガス 分類対象外 エアゾール 分類できない 酸化性ガス 分類対象外 高圧ガス 分類対象外 引火性液体 分類対象外 可燃性固体 分類できない 自己反応性化学品 分類できない 自然発火性液体 分類対象外 自然発火性固体 分類できない 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性化学品 分類できない 酸化性液体 分類対象外 酸化性固体 分類できない 有機過氧化物 分類できない 金属腐食性化学品 分類できない 鈍性化爆発物 分類できない 急性毒性(経口) 区分4, H302 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入：気体) 分類対象外 急性毒性(吸入：蒸気) 分類対象外 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 分類できない 皮膚腐食性／刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期（急性）区分外 水生環境有害性 長期（慢性）区分外 オゾン層への有害性 分類できない

Reveal® 2.0 for Salmonella, Complete System with RV & M-Broth

キット 安全情報シート (SIS)

名前	GHS分類
Revive Medium	爆発物 分類できない 可燃性ガス 分類対象外 エアゾール 分類できない 酸化性ガス 分類対象外 高压ガス 分類対象外 引火性液体 分類対象外 可燃性固体 分類できない 自己反応性化学品 分類できない 自然発火性液体 分類対象外 自然発火性固体 分類できない 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性化学品 分類できない 酸化性液体 分類対象外 酸化性固体 分類できない 有機過氧化物 分類できない 金属腐食性化学品 区分外 鈍性化爆発物 分類できない 急性毒性(経口) 分類できない 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入：気体) 分類対象外 急性毒性(吸入：蒸気) 分類対象外 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 分類できない 皮膚腐食性／刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 区分1, H317 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期（急性）区分3, H402 水生環境有害性 長期（慢性）区分3, H412 オゾン層への有害性 分類できない

Reveal® 2.0 for Salmonella, Complete System with RV & M-Broth

キット 安全情報シート (SIS)

名前	GHS分類
M Broth	爆発物 分類できない 可燃性ガス 分類対象外 エアゾール 分類できない 酸化性ガス 分類対象外 高压ガス 分類対象外 引火性液体 分類対象外 可燃性固体 分類できない 自己反応性化学品 分類できない 自然発火性液体 分類対象外 自然発火性固体 分類できない 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性化学品 分類できない 酸化性液体 分類対象外 酸化性固体 分類できない 有機過酸化物 分類できない 金属腐食性化学品 分類できない 鈍性化爆発物 分類できない 急性毒性(経口) 分類できない 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入：気体) 分類対象外 急性毒性(吸入：蒸気) 分類対象外 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 分類できない 皮膚腐食性／刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期（急性）区分外 水生環境有害性 長期（慢性）区分外 オゾン層への有害性 分類できない

輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)
国連番号
輸送規則の定義上危険物に該当しない。

Reveal® 2.0 for Salmonella, Complete System with RV & M-Broth

キット 安全情報シート (SIS)

国連勧告 (UN RTDG)	
国連正式品名	規制されていない
輸送危険物分類	規制されていない
容器等級	規制されていない
環境有害性	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報

: 補足情報なし



安全データシート

Rappaport-Vassiliadis Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2025/08/04 改訂日: 2025/08/07 バージョン: 1.1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Rappaport-Vassiliadis Broth
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]
製品コード : 9237
Part Number(s) : 9237|9715|9716|9729|22015|400000054|400000059|400000633|700002799|70002800|700002804

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 化学研究及び開発、分析用薬剤

会社情報

仕入先

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - <https://www.neogen.com/>

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア
12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号

: 24 hours:
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	分類できない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過氧化物	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	区分4
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない

安全データシート

Rappaport-Vassiliadis Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 警告

危険有害性 (GHS JP)

: 飲み込むと有害 (H302)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

応急措置

: 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312)

口をすすぐこと。(P330)

廃棄

: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

別名

: RV Medium

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Malachite green oxalate	≥ 0.1 - < 0.5	(2)-844,(5)-2033	既存化学物質	2437-29-8
Pancreatic digest of soy flour	≥ 15 - < 25	-	-	68607-88-5

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

安全データシート

Rappaport-Vassiliadis Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	: 救急隊員は、適切な個人用保護具を装備する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	: 通常の条件下では特に無し。 本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 通常の条件下では特に無し。 粉じんは皮膚のひだまたは密着した衣服に接触することで刺激を起こすことがある。
症状/損傷 眼に入った場合	: 通常の条件下では特に無し。 本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 飲み込むと有害。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	: 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
-------	--------------------------------------------------------------------

非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。

安全データシート

Rappaport-Vassiliadis Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 清潔なショベルを使用して、ドライコンテナに物質を入れ、圧縮せずに覆います。

浄化方法 : 製品は機械的に回収する。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし

安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。

接触回避 : データなし

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料 : データなし

技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

保管温度 : 2 - 30 °C

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具 : 保護用手袋

眼の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体

外観 : 粉末

色 : 灰色、淡青色

臭い : mild

pH : 4.7 - 5.1

融点 : データなし

凝固点 : データなし

沸点 : データなし

引火点 : データなし

自然発火点 : データなし

安全データシート

Rappaport-Vassiliadis Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 飲み込むと有害
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

Rappaport-Vassiliadis Broth	
ATE JP (経口)	517.613 mg/kg BW
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の83.05%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の99.42%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の99.42%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
Malachite green oxalate (2437-29-8)	
LD50 経口 ラット	275 mg/kg (Rat, Oral)
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg
Pancreatic digest of soy flour (68607-88-5)	
LD50 経口 ラット	≥ 2000 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 423 (Acute Oral toxicity - Acute Toxic Class Method)

皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない

Rappaport-Vassiliadis Broth	
pH	4.7 – 5.1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない

安全データシート

Rappaport-Vassiliadis Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Rappaport-Vassiliadis Broth	
pH	4.7 – 5.1
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期（急性）	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	: 区分に該当しない

Malachite green oxalate (2437-29-8)	
LC50 - 魚 [1]	0.12 mg/l (96 h, Pimephales promelas)
EC50 - 甲殻類 [1]	0.29 mg/l (48 h, Daphnia magna)
ErC50 藻類	1.08 mg/l
BCF - 魚 [1]	0.15 mg/l (24 h, Salmo gairdneri, Residues)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.15 (Estimated value)
Pancreatic digest of soy flour (68607-88-5)	
EC50 - 甲殻類 [1]	> 100 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna

残留性・分解性

Rappaport-Vassiliadis Broth	
残留性・分解性	急速分解性でない
Malachite green oxalate (2437-29-8)	
残留性・分解性	Not readily biodegradable in water.
Pancreatic digest of soy flour (68607-88-5)	
残留性・分解性	急速分解性でない

生体蓄積性

Rappaport-Vassiliadis Broth	
生体蓄積性	データなし
Malachite green oxalate (2437-29-8)	
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (Log Kow < 4).

安全データシート

Rappaport-Vassiliadis Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Malachite green oxalate (2437-29-8)	
BCF - 魚 [1]	0.15 mg/l (24 h, Salmo gairdneri, Residues)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.15 (Estimated value)

土壌中の移動性

Rappaport-Vassiliadis Broth	
土壌中の移動性	データなし
Malachite green oxalate (2437-29-8)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.15 (Estimated value)

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 固体廃棄物については適用法令を遵守する。
管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報 : 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	規制されていない
輸送危険物分類	規制されていない
容器等級	規制されていない
環境有害性	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

安全データシート

Rappaport-Vassiliadis Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

データなし

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Revive Medium
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]
製品コード : 9022
Part Number(s) : 9022|9705|9708|400000053|400000559|700002794|700002797

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 化学研究及び開発、分析用薬剤

会社情報

製造業者

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - <https://www.neogen.com/>

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア
12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 24 hours:
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過氧化物	分類できない
	金属腐食性化学品	区分に該当しない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない

安全データシート

Revive Medium

JIS Z 7253 : 2019に準拠

急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期 (急性)	区分3
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分3
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 警告

危険有害性 (GHS JP)

: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)
長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。(P261)
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

: 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。(P302+P352)
特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。(P321)
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
(P333+P313)

廃棄

: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Pancreatic digest of soy flour	≥ 1 - < 5	-	-	68607-88-5
Sodium pyruvate	≥ 1 - < 5	(9)-1079	既存化学物質	113-24-6
Sodium thioglycollate	≥ 0.1 - < 0.5	(2)-1363	既存化学物質	367-51-1

安全データシート

Revive Medium

JIS Z 7253 : 2019に準拠

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Sorbitan, mono-(9Z)-9-octadecenoate, poly(oxy-1,2-ethanediyl) derivs.	≥ 1 - < 5	(8)-55	既存化学物質	9005-65-6

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 応急措置をする者の保護 : 救急隊員は、適切な個人用保護具を装備する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 吸入した場合 : 通常の条件下では特に無し。
本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。
- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- 症状/損傷 眼に入った場合 : 通常の条件下では特に無し。
本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。
- 症状/損傷 飲み込んだ場合 : 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 火災危険性 : 火災の危険は一切ない。
- 爆発の危険 : 直接に爆発する危険は全くない。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

安全データシート

Revive Medium

JIS Z 7253 : 2019に準拠

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

非緊急対応者

保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置 : 漏出エリアを換気する。
皮膚、眼との接触を避ける。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。

緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置 : 不要な職員を退避させる。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。
浄化方法 : 製品は機械的に回収する。
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
皮膚、眼との接触を避ける。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。
個人用保護具を着用する。

接触回避 : データなし

衛生対策 : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料 : データなし
技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。
保管温度 : 2 - 30 °C

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

安全データシート

Revive Medium

JIS Z 7253 : 2019に準拠

保護具

個人用保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具	: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具	: 保護用手袋
眼の保護具	: 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
外観	: 粉末
色	: ベージュ色
臭い	: 特異臭
pH	: 6.9 – 7.3
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

安全データシート

Revive Medium

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Revive Medium	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の73.88%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の99.28%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の99.28%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている

Pancreatic digest of soy flour (68607-88-5)	
LD50 経口 ラット	≥ 2000 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 423 (Acute Oral toxicity - Acute Toxic Class Method)

Sodium pyruvate (113-24-6)	
LD50 経口	3533 mg/kg BW (Mouse, Experimental value, Oral)
LD50 経皮 ラット	> 3000 mg/kg BW (Rat, Male, Experimental value, Intraperitoneal)

Sodium thioglycollate (367-51-1)	
LD50 経口 ラット	50 – 200 mg/kg BW (OECD 423: Acute Oral Toxicity - Acute Toxic Class Method, Rat, Male / female, Experimental value, Oral, 15 day(s))
LD50 経皮 ラット	1000 – 2000 mg/kg BW (OECD 402: Acute Dermal Toxicity, 24 h, Rat, Female, Experimental value, Dermal, 14 day(s))

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない

Revive Medium	
pH	6.9 – 7.3

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

Revive Medium	
pH	6.9 – 7.3

呼吸器感受性 : 分類できない

皮膚感受性 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない

Sodium thioglycollate (367-51-1)	
LOAEL (経口、ラット、90日)	60 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity Study in Rodents)
LOAEL (経皮、ラット/ウサギ、90日)	11.25 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: other., Guideline: OECD Guideline 411 (Subchronic Dermal Toxicity: 90-Day Study)
NOAEL (経口、ラット、90日)	20 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity Study in Rodents)
NOAEL (経皮、ラット/ウサギ、90日)	≥ 180 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: other., Guideline: OECD Guideline 411 (Subchronic Dermal Toxicity: 90-Day Study)

誤えん有害性 : 分類できない

Sodium pyruvate (113-24-6)	
動粘性率	Not applicable (solid)

安全データシート

Revive Medium

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Sodium thioglycollate (367-51-1)	
動粘性率	Not applicable (solid)

Sorbitan, mono-(9Z)-9-octadecenoate, poly(oxy-1,2-ethanediyl) derivs. (9005-65-6)	
動粘性率	462.963 – 46648.148 mm ² /s

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 水生生物に有害、長期継続的影響によって水生生物に有害。
水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に有害
水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に有害

Pancreatic digest of soy flour (68607-88-5)	
EC50 - 甲殻類 [1]	> 100 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna

Sodium pyruvate (113-24-6)	
LC50 - 魚 [1]	> 100 mg/l (96 h, Pisces, QSAR, Nominal concentration)
EC50 - 甲殻類 [1]	> 100 mg/l (OECD 202: Daphnia sp. Acute Immobilisation Test, 48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Experimental value, Nominal concentration)
EC50 72h - 藻類 [1]	2.78 mg/l Test organisms (species): Raphidocelis subcapitata (previous names: Pseudokirchneriella subcapitata, Selenastrum capricornutum)
EC50 96h - 藻類 [1]	94800000 mg/l Source: ECOSAR
ErC50 藻類	> 3 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Experimental value, GLP)
NOEC (慢性)	3.95 mg/l Test organisms (species): Duration: '28 d'
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3.8 (Practical experience/observation, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 20 ° C)

Sodium thioglycollate (367-51-1)	
LC50 - 魚 [1]	> 100 mg/l (OECD 203: Fish, Acute Toxicity Test, 96 h, Oncorhynchus mykiss, Flow-through system, Fresh water, Read-across, GLP)
EC50 - 甲殻類 [1]	47 mg/l (48 h, Daphnia magna, Experimental value, Locomotor effect)
EC50 - 他の水生生物 [1]	47.31 mg/l Test organisms (species):
EC50 72h - 藻類 [1]	5.07 mg/l Test organisms (species):
ErC50 藻類	5.1 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Pseudokirchneriella subcapitata, Read-across, GLP)
NOEC (慢性)	3.9 mg/l Test organisms (species): Duration: '21 d'
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3 (Experimental value, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 22 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	0.16 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, QSAR)

Sorbitan, mono-(9Z)-9-octadecenoate, poly(oxy-1,2-ethanediyl) derivs. (9005-65-6)	
LC50 - 魚 [1]	817.89 mg/l Source: ECOSAR

安全データシート

Revive Medium

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Sorbitan, mono-(9Z)-9-octadecenoate, poly(oxy-1,2-ethanediyl) derivs. (9005-65-6)

EC50 96h - 藻類 [1] 62.072 mg/l Source: ECOSAR

残留性・分解性

Revive Medium

残留性・分解性 急速分解性でない

Pancreatic digest of soy flour (68607-88-5)

残留性・分解性 急速分解性でない

Sodium pyruvate (113-24-6)

残留性・分解性 Readily biodegradable in water.

Sodium thioglycollate (367-51-1)

残留性・分解性 Readily biodegradable in water.

Sorbitan, mono-(9Z)-9-octadecenoate, poly(oxy-1,2-ethanediyl) derivs. (9005-65-6)

残留性・分解性 Biodegradability in water: no data available.

生体蓄積性

Revive Medium

生体蓄積性 データなし

Sodium pyruvate (113-24-6)

生体蓄積性 Not bioaccumulative.

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) -3.8 (Practical experience/observation, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 20 ° C)

Sodium thioglycollate (367-51-1)

生体蓄積性 Not bioaccumulative.

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) -3 (Experimental value, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 22 ° C)

有機炭素吸着係数 (Log Koc) 0.16 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, QSAR)

Sorbitan, mono-(9Z)-9-octadecenoate, poly(oxy-1,2-ethanediyl) derivs. (9005-65-6)

生体蓄積性 No bioaccumulation data available.

土壌中の移動性

Revive Medium

土壌中の移動性 データなし

Sodium pyruvate (113-24-6)

表面張力 No data available in the literature

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) -3.8 (Practical experience/observation, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 20 ° C)

生態系 - 土壌 No (test)data on mobility of the substance available.

安全データシート

Revive Medium

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Sodium thioglycollate (367-51-1)	
表面張力	No data available in the literature
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3 (Experimental value, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 22 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	0.16 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, QSAR)
生態系 - 土壌	Highly mobile in soil.

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

- 推奨製品/梱包処分 : 固体廃棄物については適用法令を遵守する。
管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
- 廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
- 地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
- 推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
- 追加情報 : 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGIに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	規制されていない
輸送危険物分類	規制されていない
容器等級	規制されていない
環境有害性	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

安全データシート

Revive Medium

JIS Z 7253 : 2019に準拠

15. 適用法令

国内法令

データなし

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。



安全データシート

m-Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2025/08/21 改訂日: 2025/08/22 バージョン: 2.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : m-Broth
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]
製品コード : NCM0125
Part Number(s) : 700003332|NCM0125A|700003333|NCM0125B|700003334|NCM0125C|NCM0125

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 化学研究及び開発、分析用薬剤

会社情報

仕入先

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - <https://www.neogen.com/>

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア
12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 24 hours:
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない

安全データシート

m-Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Sorbitan, mono-(9Z)-9-octadecenoate, poly(oxy-1,2-ethanediyl) derivs.	≥ 1 - < 5	(8)-55	既存化学物質	9005-65-6
Manganese(II) chloride tetrahydrate	≥ 0.1 - < 0.5	(1)-235	既存化学物質	13446-34-9

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般	: 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	: 救急隊員は、適切な個人用保護具を装備する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	: 通常の条件下では特に無し。 本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 通常の条件下では特に無し。 粉じんは皮膚のひだまたは密着した衣服に接触することで刺激を起こすことがある。
症状/損傷 眼に入った場合	: 通常の条件下では特に無し。 本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。

安全データシート

m-Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

症状/損傷 飲み込んだ場合 : 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
火災危険性 : 火災の危険は一切ない。
爆発の危険 : 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

非緊急対応者

保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置 : 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置 : 不要な職員を退避させる。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 清潔なショベルを使用して、ドライコンテナに物質を入れ、圧縮せずに覆います。
浄化方法 : 製品は機械的に回収する。
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。
接触回避 : データなし

安全データシート

m-Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料 : データなし
技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。
保管温度 : 2 - 30 °C

8. ばく露防止及び保護措置

Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	塩化マンガン (MnCl ₂) 四水和物 # Manganese chloride (MnCl ₂), tetrahydrate
許容濃度	0.02 mg/m ³ 吸入性粉塵、Mnとして、有機マンガン化合物を除く 0.1 mg/m ³ 総粉塵、Mnとして、有機マンガン化合物を除く
規則参照	JCDBの調査による
日本 - ばく露限界値 (管理濃度(厚生労働省))	
現地名	塩化マンガン (MnCl ₂) 四水和物 # Manganese chloride (MnCl ₂), tetrahydrate
管理濃度	0.2 mg/m ³ Mnとして
規則参照	作業環境評価基準 平成29年度版

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具 : 保護用手袋
眼の保護具 : 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体
外観 : 粉末
色 : ベージュ色
臭い : 特異臭
pH : 6.8 - 7.2
融点 : データなし
凝固点 : データなし
沸点 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし

安全データシート

m-Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

m-Broth	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の85.7%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の99.5%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の99.5%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)	
急性毒性 (経口)	ラットのLD50値として、7.5 mmol/kg (分子量197.9で換算したLD50値: 1,484 mg/kg) (Holbrook DJ Jr. et al.: Environ Health Perspect., 10, 95 (1975)) の報告に基づき、区分4とした。以下の健康に対する有害性に関する項目については、本物質の無水物である塩化マンガン(I I) (CAS番号 7773-01-5) も参照のこと。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:気体)	GHSの定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHSの定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口 ラット	236 mg/kg BW (Equivalent or similar to OECD 420, Rat, Female, Experimental value, Anhydrous form, Oral, 8 day(s))
LD50 経口	1484 mg/kg

安全データシート

m-Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)	
LC50 吸入 - ラット	> 4.45 mg/l (OECD 403: Acute Inhalation Toxicity, 4 h, Rat, Male / female, Experimental value, Anhydrous form, Inhalation (dust), 14 day(s))
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 4.45 mg/l Source: ECHA

皮膚腐食性 / 刺激性 : 分類できない

m-Broth	
pH	6.8 – 7.2

Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)	
皮膚腐食性 / 刺激性	データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 : 分類できない

m-Broth	
pH	6.8 – 7.2

Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)	
眼に対する重篤な損傷性 / 刺激性	データ不足のため分類できない。

呼吸器感作性 : 分類できない

Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

皮膚感作性 : 分類できない

Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)	
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)	
生殖細胞変異原性	In vivoでは、ラットの精原細胞及び骨髄細胞の染色体異常試験で陰性 (NITE初期リスク評価書 (2008)、CICAD 12 (1999)、ATSDR (2012))、in vitroでは、細菌の復帰突然変異試験で陽性、陰性の結果、哺乳類培養細胞のマウスリンフォーマ試験、ヒトリンパ球培養細胞の染色体異常試験で陽性である (ATSDR (2012))。以上より、ガイダンスに従い分類できないとした。

発がん性 : 分類できない

Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)	
発がん性	本物質自体のデータはないが、二価の可溶性マンガン化合物のデータとして、硫酸マンガン一水和物をラット、又はマウスに2年間混餌投与したNTPによる発がん性試験報告がある。すなわち、ラットでは雌雄ともに発がん性の証拠はなかったが、マウスでは雌雄ともに甲状腺濾胞細胞腺腫の軽微な増加がみられ、発がん性の証拠は不明瞭 (equivocal) とNTPにより結論されている (NITE初期リスク評価書 (2008)、NTP TR428 (1993)、CICAD 12 (1999)、ATSDR (2012))。マンガン化合物に対する国際機関による分類結果はない。以上、本項はデータ不足のため分類できない。

生殖毒性 : 分類できない

安全データシート

m-Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)

生殖毒性

本物質を妊娠マウスに皮下投与(妊娠6~15日)した試験では、母動物に体重増加抑制、摂餌量減少がみられる用量、又はそれ以下の用量で胎児に胚吸収増加、腎不全形成、波状肋骨などがみられた(NITE初期リスク評価書(2008)、CICAD 12(1999))。塩化マンガンを妊娠ラットの器官形成期(妊娠6~17日)に静脈内投与した試験でも、母動物毒性(体重増加抑制、着床数減少)発現量より低い用量から胎児に体重低値、骨格異常、波状肋骨、四肢彎曲がみられている(NITE初期リスク評価書(2008)、CICAD 12(1999))。また、硫酸マンガンを妊娠マウスに妊娠8日に単回腹腔内投与した試験で外脳症及び胚吸収の増加が認められ、より高用量投与では着床阻害を生じたとの報告もある(NITE初期リスク評価書(2008))。一方、塩化マンガンを妊娠ラットに妊娠期間を通して飲水投与した試験では、母動物毒性発現量(体重増加抑制、摂水量減少)を上回る用量でも児動物に体重の低値がみられただけであった(NITE初期リスク評価書(2008))。以上、本物質を含む二価の可溶性マンガン化合物の毒性情報は限定的であるが、皮下、静脈内、腹腔内など注射経路で胎児に骨格異常、外表奇形、着床阻害などがみられており、本項は区分2が妥当と判断した。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: 分類できない

Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: 分類できない

Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

本物質ではないが、ヒトにおいて経口または吸入経路でマンガンに過剰にばく露されると、急性影響としては記憶障害、精神症状などがみられ、慢性影響としては歩行障害、言語障害などパーキンソン病に類似したマンガン中毒の症状がみられる。特に吸入ばく露において重篤な影響がみられる(NITE初期リスク評価書(2008))。経口経路では高濃度のマンガンを含む井戸水を摂取した事例や、マンガン濃度の高い地域に居住する住民に対する疫学調査において、仮面様顔貌、筋硬直、振戦、及び精神障害などマンガン中毒に似た症状が報告されている(NITE初期リスク評価書(2008))。マンガン酸化物、マンガン塩製造工場において、二酸化マンガンを、四酸化三マンガンを、マンガン塩(硫酸塩、炭酸塩、硝酸塩)の粉じんのばく露による神経行動学的機能への影響の報告があり(NITE初期リスク評価書(2008))。二酸化マンガンの職業ばく露により、マンガン中毒による神経毒性の報告があり、視覚の単純反応時間及び眼と手の協調運動の低下に加え、手の硬直がみられた(SIDS(2012)、NITE初期リスク評価書(2008)、ATSDR(2012))との報告がある。また、二酸化マンガンを主体とするマンガン化合物では呼吸器障害(咳、気管支炎、肺炎など)を生じることが多くの報告事例で明らかにされている(ATSDR(2012))。実験動物では、3週齢の幼若ラットを用いた強制経口投与による本物質の60日間反復投与毒性試験において、区分1相当の0.31 mg/kg/day(90日換算値: 0.21 mg/kg/day)で脳のモノアミンオキシダーゼ活性増加、大脳及び小脳皮質、尾状核の神経変性の報告がある(ATSDR(2012)、NITE初期リスク評価書(2008))。また、ラットを用いた本物質の10週間飲水投与毒性試験において区分1相当の6.5 mg/kg/dayで空間記憶能、オープンフィールド歩行運動活性及び聴覚性驚愕反応の低下、知覚誘発電位の潜時の増加の報告がある(ATSDR(2012))。したがって、区分1(神経系、呼吸器)とした。

誤えん有害性

: 分類できない

安全データシート

m-Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Sorbitan, mono-(9Z)-9-octadecenoate, poly(oxy-1,2-ethanediyl) derivs. (9005-65-6)	
動粘性率	462.963 – 46648.148 mm ² /s
Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期 (急性)	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 区分に該当しない

Sorbitan, mono-(9Z)-9-octadecenoate, poly(oxy-1,2-ethanediyl) derivs. (9005-65-6)	
LC50 - 魚 [1]	817.89 mg/l Source: ECOSAR
EC50 96h - 藻類 [1]	62.072 mg/l Source: ECOSAR
Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)	
水生環境有害性 短期 (急性)	藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) 72時間ErC50 = 82 mg/L (環境省生態影響試験, 2008) であることから、区分3とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	無機化合物につき環境中動態が不明であり、甲殻類 (オオミジンコ) の21日間NOEC (繁殖) = 0.16 mg/L (環境省生態影響試験, 2008) であることから、区分2とした。
LC50 - 魚 [1]	33.2 mg/l (Equivalent or similar to OECD 203, 96 h, Oncorhynchus mykiss, Flow-through system, Fresh water, Weight of evidence, Anhydrous form)
EC50 - 甲殻類 [1]	9.8 mg/l Source: ECHA
EC50 72h - 藻類 [1]	61 mg/l Source: ECHA
ErC50 藻類	61 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Desmodesmus subspicatus, Static system, Fresh water, Read-across, Anhydrous form)
NOEC 甲殻類 慢性	0.16 mg/l

残留性・分解性

m-Broth	
残留性・分解性	急速分解性でない
Sorbitan, mono-(9Z)-9-octadecenoate, poly(oxy-1,2-ethanediyl) derivs. (9005-65-6)	
残留性・分解性	Biodegradability in water: no data available.
Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)	
残留性・分解性	Biodegradability: not applicable.
化学的酸素要求量(COD)	Not applicable (inorganic)
ThOD	Not applicable (inorganic)

安全データシート

m-Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

生体蓄積性

m-Broth	
生体蓄積性	データなし
Sorbitan, mono-(9Z)-9-octadecenoate, poly(oxy-1,2-ethanediyl) derivs. (9005-65-6)	
生体蓄積性	No bioaccumulation data available.
Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative.

土壌中の移動性

m-Broth	
土壌中の移動性	データなし
Manganese(II) chloride tetrahydrate (13446-34-9)	
表面張力	No data available in the literature
生態系 - 土壌	No (test)data on mobility of the substance available.

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 固体廃棄物については適用法令を遵守する。 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	輸送規則の定義上危険物に該当しない。
国連正式品名	規制されていない
輸送危険物分類	規制されていない
容器等級	規制されていない

安全データシート

m-Broth

JIS Z 7253 : 2019に準拠

国連勧告 (UN RTDG)	
環境有害性	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

- 労働安全衛生法 : 作業環境評価基準 (法第65条の2第1項)
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9)
マンガン及びその無機化合物 (別表の番号: 30)
【改正後 令和8年4月1日以降】
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9)
マンガン及びその無機化合物 (別表の番号: 30)
- 水質汚濁防止法 : 指定物質 (法第2条第4項、施行令第3条の3)
- 大気汚染防止法 : 有害大気汚染物質、優先取組物質 (中央環境審議会第9次答申)
- 水道法 : 有害物質 (法第4条第2項)、水質基準 (平15省令101号)
- 下水道法 : 水質基準物質 (法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
- 労働基準法 : 疾病化学物質 (法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。